



## 特集 ブランド大使決まる

- P4 市と相互交流を行う自治体
- P5 国民健康保険税の税率が変わります
- P6 バイオマスタウン構想を策定
- P7 まちづくり交付金で城下町整備 など

### 消防総合訓練を実施

例年、市民の防火意識を高めるために消防総合訓練を実施しています。今年は、明治の大火から120年の節目を記念し、復元された手押しポンプによる放水訓練や約40年ぶりに結成されたラッパ隊による合図も披露されました。(4月8日 六間通り)



# 越前おおのブランド大使委嘱式



(後列) 山本副市長、中村市観光協会会長、砂子市議会議長、岡田市長、黒原商工会議所会頭、西川テラル越前農協組合長 (前列) 山本市企業立地推進本部顧問、大野氏、養老氏、清水氏、湊川氏

# 大野の魅力在全国に

市が取り組んでいる「越前おおのブランドセールス事業」の一環として、大野の優れた魅力を全国に発信するため、「越前おおのブランド大使」と「越前おおのサポーター倶楽部」を創設しました。

## 著名な四人に委嘱

「越前おおのブランド大使」は、市の知名度アップにつながる情報発信や市政全般・各種施策に関する提言などを主な役割として、大野市出身または居住経験のある著名人、ゆかりのある著名人などを対象に選定しました。

大使には、タレントの清水國明氏、大相撲元小結・大徹の湊川忠晃氏、東京大学名誉教授の養老孟司氏、森永乳業株式会社代表取締役会長の大野晃氏の四人をお願いしました。三月二十五日には東京都内で委嘱式を開催。委嘱状交



付後、特産品の試食や意見交換などを行いました。大使らは、大野に行きたくなるまち

## あなたも応援団に登録を サポーター倶楽部設置

「越前おおのサポーター倶楽部」は、大野の優れた魅力を全国に広く周知し、特産品の販路拡大や観光宣伝、企業誘致の推進などに協力していただくことを目的として、四月に設置されました。市内在住または出身、居住経験のある人やゆかりのある人などを対象に、大野の応援団として

## 越前おおのブランドセールス事業

特産品の販路拡大や観光、企業誘致などのセールス活動を通じて、大野が誇る魅力ある素材を全国に売り出し、産業の底上げを目指すため、昨年度から行っている事業です。

今年度からは、市として初めてとなるアンテナショップを東京都板橋区の大山商店街に開設。特産品の販売、「越前おおの」に関する情報発信などを行っていきます。

づくりを進めてほしいなど意見やアイデアを出しています。

登録していただき、市内外に情報発信をお願いするものです。任期は登録の日から平成二十三年三月三十一日までです。サポーターは随時募集しています。詳しくはお問い合わせいただくか、市のホームページをご覧ください。

問 産業政策課政策推進係

(☎ 66・1111 内線391)

# 「越前おおのブランド大使」プロフィール

(順不同)



しみず くにあき  
■ 清水 國明氏

昭和25年、後野に生まれる。48年に原田伸郎氏とのフォークソング・デュオ「あのねのね」でデビュー。タレントとして幅広く活動する傍ら、芸能界きってのアウトドア派としても知られ、平成7年にアウトドアライフネットワーク「自然暮らしの会」を主宰。現在も代表を務める。

ふるさとの自然を機会あるごとに宣伝していきたい。インターネットのブログを活用した口コミでのPRが成功しているという話を聞いたことがあるので、全国に大野を売り出す方法として、取り入れてみてはどうか。



みなとがわ ただみつ  
■ 湊川 忠晃氏

昭和31年、吉に生まれる。長身を見いだされ二所ノ関部屋に入門し、46年名古屋場所で初土俵。62年の春場所に小結に昇進し、福井県出身力士としては昭和で初めての三役となった。初土俵から一日の休場もなく、平成2年秋場所で引退。年寄湊川を襲名し、後進の指導に当たっている。

ふるさとの味は食べた時に昔の風景を思い出すものなので、自信を持って大切に守ってほしい。大野でしか食べることのできないふるさとの味を大切に、提供してはどうか。



ようろう たけし  
■ 養老 孟司氏

昭和12年、神奈川県に生まれる。解剖学者として、脳関係の解剖体験や脳外科的見地から研究や執筆活動を行っている。平成15年に出版した『バカの壁』は400万部のベストセラーを記録し、題名は新語・流行語大賞を受賞。父が大野市出身で、従兄弟が市内に在住している。

おろしそばが大好きで、高校生の時に食べた温かいおろしそばがとてもおいしかった。現在のようなエネルギー消費が続くと、エネルギーが不足し自給自足の時代になると思う。田舎が見直される時代に戻らう。



おおの あきら  
■ 大野 晃氏

昭和11年、北海道に生まれる。現在は森永乳業株式会社代表取締役会長として、業界団体の役員を兼任するなど重責を担っている。先祖が福井県の出身で、姓が「大野」という縁から、本市を進める特産品の販売促進や食育推進のための料理教室の開催などに尽力していただいている。

特産品がすばらしいからといって単に売るのではなく、受け手が望む形で提供していくことが必要ではないか。森永乳業株式会社発行の「マミー克蘭」などを通じて、大野の特産品や魅力を紹介していきたい。

# 大野市と交流を行う市や町

市では、歴史的なつながりのある市や町と交流を行っています。友好交流を目的とした訪問・受け入れを対象に補助を行うなど市民同士の交流を進めています。

## 姉妹都市

### ▼茨城県古河市

土井家の始祖である後の徳川幕府大老土井利勝が一六三三年、古河藩に入封し、土井家による古河藩支配が始まりました。大野藩は徳川幕府誕生から譜代大名の松平家が治めた後、幕府天領となっていました。利勝の四男利房が一六八二年に入封し、八代利恒の代に明治維新を迎えるまで続きました。

市では、昭和五十八年に土井利房入封三百周年記念祭を開催。そのことから、市民同士の交流が行われ、友好交流に対する気運が高まり、平成二年に「姉妹都市提携」と「災害時における相互応援協定」に調印。合併後の十八年一月に再度提携を結びました。

## 友好交流市

### ▼愛知県岩倉市

平成五年から旧和泉村と岩倉市との交流が始まり、八年には「友好都市提携」と「災害時における相互応援協定」を締結。合併を機に旧和泉村と岩倉市の友好都市提携は解消となりましたが、合併後も友好的に交流を行うよう大野市と岩倉市で協議を重ね、十九年一月に岩倉市で「友好に関する合意」と「災害時における相互応援協定確認書」に両市長が署名し、両市市民の友好的な交流を推進することとなりました。

大野市からは岩倉桜まつりに、岩倉市からは九頭竜紅葉まつりに参加するための市民バスを運行するなど交流を行っています。

## 友好市町

- ▼北海道新ひだか町(旧三石町)
- ▼岩手県葛巻町

- ▼新潟県糸魚川市(旧能生町)
- ▼兵庫県南あわじ市(旧南淡町)

本市域やひだか町などから三石町に多くの人が入植したことから、昭和五十八年六月に三石町で五市町長が友好の契りを結びました。

## ゆかりのあるまち

岐阜県高山市など歴史的に縁のある六市に対して趣意書を送り、大野市との交流の促

進を図っています。  
**交流事業に補助**

市内の団体が友好交流を目的に訪問・受け入れ交流事業を行う際、補助金が出る場合があります。詳しくはお問い合わせください。

☎ 秘書課秘書係 (☎66・1111内線221)



※ゆかりのあるまち(順不同)…岐阜県高山市、愛知県刈谷市、滋賀県甲賀市(旧信楽町)、滋賀県彦根市、岐阜県飛騨市(旧古川町)、岐阜県郡上市(旧八幡町)

# 国民健康保険に加入されている方へ

# 税率が変わります

後期高齢者医療制度(※)の創設に伴い、地方税法が改正されます。市ではこれを受けて、国民健康保険の税率を改正します。

## 拠出分を明確に

これまでの国民健康保険税は、医療分と介護分の二つに区分されてきました。四月から後期高齢者医療制度がスタートしたことから、医療分として拠出する分を明確にすることになりました。市では、これに対応するため、国民健康保険税の税率を改正し

昨年度との税率比較

		19年度	20年度
医療分	所得割	6.8%	5.0%
	資産割	25.0%	18.0%
	均等割	2万5000円	1万9000円
	平等割	2万5600円	1万9400円
	限度額	56万円	47万円
後期高齢者支援金等分	所得割	なし	1.8%
	資産割	なし	7.0%
	均等割	なし	6000円
	平等割	なし	6200円
	限度額	なし	12万円
介護分	所得割	1.0%	1.0%
	資産割	7.0%	7.0%
	均等割	8000円	8000円
	平等割	5400円	5400円
	限度額	9万円	9万円
限度額計		65万円	68万円

## ※後期高齢者医療制度

75歳以上すべての人と一定の障害のある65歳以上の人を対象とする医療制度で、4月にスタートした。制度運営は県内全市町で共同設置する福井県後期高齢者医療広域連合が実施。県平均の保険料額は年額で5万7400円

## 10月から天引き

健康保険法の改正に伴い、年金から国民健康保険税を天引き(特別徴収)することになりました。

国民健康保険に加入する世帯のうち世帯主や被保険者が、ともに65歳から74歳までで、世帯主が年金を受給している場合、その年金から保険税を天引きします。

本市では、本年十月に支給される年金から天引きします。四月分から九月分までの保険税は七月、八月、九月に納付書により納付(普通徴収)

## 特定健康診査等実施計画を策定

大野市国民健康保険に加入する40歳から74歳の方を対象に特定健診・特定保健指導(※)を実施するにあたり、目標値などを定めた実施計画を策定しました。計画期間は5年間で、平成24年度にはメタボリックシンドロームの該当者とその予備群を10%減少させることを目的としています。計画の内容は、市のホームページに掲載する予定です。

※特定健診・特定保健指導…40歳から74歳の人を対象に行うメタボリックシンドロームに着目した健康診断を実施し、必要な人に対し生活改善などの支援を行う。

### 特定健診を受けましょう

特定健診を受診することで、病気の早期発見・早期治療につながります。健康で生き生きとした生活を送るために、ぜひ健康診断を受けましょう。

#### 【健診項目】

従来の項目に腹囲の測定が加わります。

- ▶身体計測(身長・体重・腹囲) ▶血圧・尿(尿糖・タンパク)・血糖検査
- ▶血液化学検査(中性脂肪など) ▶肝機能検査 ▶心電図・貧血・眼底検査

することになります。平成21年度以降は、四月から天引きします。四月、六月、八月の年金支給時には前年度の保険税額で仮徴収を行います。保険税額が確定した

後の十月、十二月、二月に本徴収を行い、調整します。  
問 市民課保険年金係(☎66・1111内線451)

# バイオマスタウン構想を策定

市では、合併前の和泉村が策定した「和泉バイオマスタウン構想」を見直し、バイオマス(※)の有効活用と地域活性化を図る目的で、本市全域を対象とした「大野市バイオマスタウン構想」を策定しました。

## 三つの基本方針

越前おおの元気プラン(※)の施策の柱として、「人が元

マスタウン実現に向け取り組んでいきます。

具体的には、▼市内で出されるもみ殻や豆腐かす、製材により出てくる木くずなどを

収集し、家畜排せつ物に混和して堆肥化、有機農業に活用

する。また、ごとおの有機肥料、▼廃食用油のバイオディー

ゼル燃料化を、障害者施設

の就労支援事業として実施する。いきいきリサイクル油、▼

遊休農地などの活用や水稲を利用したバイオ燃料化などの

調査・研究を進めます。

※バイオマス：エネルギー源として再利用できる動植物

から生まれた資源で化石資源を除いたもの。

※越前おおの元気プラン：市の最上位計画である第四次

大野市総合計画後期基本計画の期間中に実施すべき重点

施策を取りまとめたもの

☎ 総合政策課企画政策係

(☎66・1111内線433)

## 基本方針

### ◆地域バイオマスを最大限に活用した“越前おおの型農業”の推進(産業が元気)

地域バイオマスの有効活用を通して、本市ならではの有機農業の推進を図り、“越前おおの型農業”の確立を目指します。

### ◆木質バイオマスの利活用推進(自然が元気)

森林資源に恵まれ、木質バイオマスの賦存量が多い本市の特色を生かし、林業活性化も含めたビジネスモデルの構築、水や緑などの資源の保全と循環の確保を目指します。

### ◆市民・事業者・行政が協働する持続可能な活動の展開(人が元気)

地域バイオマスを循環させることで、それにかかわる「人の手」のつながりをつくり、市民・事業者・行政が協働する“環(わ)”を形成します。“環”の発展をねらい雇用促進・人材育成に取り組み、持続可能な活動を展開します。

市では、上記に掲げた3つの基本方針を定めてバイ

## 19年度分実施状況

# 情報公開 個人情報開示

平成十九年度中に「大野市情報公開条例」に基づく公文書の公開請求などがあったものについて、その実施状況をお知らせします。

情報公開条例では、平成

十年四月一日以降に市が作成、取得した文書について、公開請求できることが

定められています。それ以前

の文書については、市が努めて同じように取り扱う

ことになっていきます。集計

では、前者を公開請求、後

者を公開申出(大野市以外からの請求を含む)と区別

しています。

個人情報保護条例では、市が保有する自己を本人とする保有個人情報の開示などを請求することができま

す。平成十九年度の開示請求はありませんでした。

☎ 総務課行政係(☎66・1111内線244)

## 平成19年度情報公開実施状況

区分	受付件数	決定件数		不存在	取り下げ
		公開	非公開		
公開請求	31件	26(23)件	3件	1件	1件
公開申出	5件	2(1)件	0件	3件	0件
計	36件	28(24)件	3件	4件	1件

※公開のカッコ内は一部公開の数を示しています。

※非公開3件に対し、異議申し立ては2件でした。受付件数の実施機関別内訳は、市長27件、教育委員会2件、議会3件、監査委員4件でした。

# 越前おおの城下町地区を整備



～「まちづくり交付金」活用し5カ年で～

市では、国土交通省の「まちづくり交付金」を活用し、今後5年間で「水に育まれた城下町の再生を目指して」をテーマに「越前おおの城下町地区」を整備します。

まちづくり交付金は、地域の歴史・文化・自然環境の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実施し、都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的としています。

各事業の取り組み状況などは随時ホームページで公表していきます。

## 各事業名と概要

	事業名	事業概要
基幹事業	亀山公園整備事業	散策路、芝生広場、トイレの設置など
	まちなか観光案内サイン整備事業	中心市街地歩行者用サイン、車両誘導用サイン、観光案内地図看板の設置など
	まちなか周遊ルート石畳整備事業	まちなか拠点施設や観光施設を結ぶ周遊路線の石畳化
	JR越前大野駅前修景施設整備事業	JR越前大野駅前に景観などに調和した施設を整備
	地域交流センター整備事業	旧有終西小学校の児童玄関、給食室などを会議室などに改修
提案事業	まちなか交流観光体験事業	手作り体験や工芸品の製作実演などの委託
	まちなか町家暮らし支援事業	中心市街地における町家住宅の新築、改築の補助
	大和町市有地活用事業	跡地利用にかかる調査委託、検討
	有終西小学校跡地活用事業	跡地利用にかかる調査委託、検討
	朝市活性化事業	商工、観光関係団体、中心市街地活性化協議会等の連携による朝市の活性化に向けた調査研究

## 越前おおの城下町地区 (87ヘクタール)



### 景観・定住促進に関する 助成制度説明会

市では、景観に配慮した住まいづくりや市外からの定住者を応援しています。今回、新たな事業を実施するにあたり、説明会を開催します。事前の申し込みは不要です。気軽にご参加ください。

期日 5月19日(月)

時間 午後7時～8時

場所 有終会館

説明する助成の内容

- ①越前おおの城下町地区での町家を基調にした外観の修景整備に対する助成
  - ②郊外での農家型伝統的民家の外観の修景整備に対する助成
  - ③市外から転入し定住するための住宅の新築や取得に対する助成
- ※①②については、助成金希望額の合計が予算の範囲を超える場合、補助対象者の選定を行います

問 都市計画課計画景観係  
(☎66・1111内線351)

# 市の人事異動

四月一日付けで、総勢百三十九人の人事異動を行いました(うち新採用七人、退職七人、消防本部十五人含む)。内訳は、部長級三人、課長級十四人、課長補佐級二十人、係長級二十八人、主査級三十四人、主事級三十三人、業務職員七人です。

長・松田市郎

【県へ帰任】

▽森岡清信▽

鶴野千恵

## 課長補佐級

【市長部局】

▽総務部▽財政課課長補佐

(財政担当)・

加藤正幸▽税

務課課長補

佐・平瀬照夫

▽情報広報課課長補佐・山元

信子▽生活防災課課長補佐市

民生活係長事務取扱・永田由

美子▽市民福祉部▽市民課課

長補佐保険年金係長事務取

扱・山田一郎▽健康増進課課

長補佐(兼)保健センター次

長・亀井宗子▽あかね保育園

長・清水節子▽阪谷保育園

長・帰山つゆ子▽和泉保育園

長(兼)和泉児童センター館

長・南居光枝▽産業経済部▽

産業政策課課長補佐政策推進

係長事務取扱・畑中六太郎▽



新採用職員辞令交付式(4月1日 市長室)

【消防本部】▽警防課課長補佐(通信司令室担当)・反保昭雄

## 新採用

【市長部局】▽総務部▽税務

課・杉川まり絵▽生活防災

課・印牧公幸▽産業経済部▽

農林振興課・勝矢朋希▽観光

振興課・福田吉▽建設部▽都

市計画課・松田つかさ

【消防本部】▽警防課・篠原

時裕▽福井県消防学校へ派

遣・山本真吾

## 嘱託員(新任)

▽児童館館長・小池利恵子▽

地域職業訓練センター所長・

大藤喜代治▽図書館長・谷脇

一治

## 退職者(三月三十一日付)

【一般職】▽大藤喜代治(総

務部理事)▽谷脇一治(教育

委員会事務局長)▽小池利恵

子(あかね保育園長)

【業務職】▽宮村和夫(観光

振興課)▽泉博子(乾側小学

校)▽三嶋美登里(小山小学

校)▽細道きよみ(開成中学

校)

## 部長級

【市長部局】▽産業経済部

長・佐々木康男▽建設部理事

(企画政策担当)・中西彰

【教育委員会】▽教育委員会

事務局長・宮下真一

【県へ帰任】▽竹内利寿

## 課長級

【市長部局】▽総務部▽税務

課長・岸山厚▽市民福祉部▽

環境衛生課長(兼)浄化セン

ター所長・松田安雄▽健康増

進課長(兼)保健センター所

長・山村正人▽和泉診療所

長・八木大介▽社会福祉課

長・石田光義▽産業経済部▽

農林振興課長(兼)農業委員

会事務局長・篠田守一▽農林

整備課長・佐々木蔵▽商工振

興課長(兼)産業文化展示館

長(兼)ふるさと公園サン・

スポーツランド所長・松田輝

治▽観光振興課長・中山継男

▽建設部▽都市計画課長・嶋

田康博▽水道課長・佐々木

清一▽和泉支所▽振興課長

(兼)木材工芸品加工施設館

長・道岸孝治

【監査委員事務局】▽監査委

員事務局長・四方一人

【消防本部】▽消防本部次長

(広域再編担当) (兼) 副署

# 防災力強化へ 消防緊急通信指令システム更新

市では、安心・安全なまちづくりの実現を目指し、各種事業に取り組んでいます。

## 通信システムを更新

最先端のコンピューター技術を駆使した「消防緊急通信指令システム」が消防本部に導入され、三月二十八日から運用が開始されました。



今回導入されたシステムでは、災害通報受付から災害地点の決定、出場体制の確立、消防活動における支援情報の提供や関係機関への緊急連絡などを、これまで以上に迅速かつ的確に行うことができます。さらに、「携帯・IP119通報発信地表示システム」を導入したことにより、GPS機能の付いた携帯電話やIP電話からの「119番通報」で、通報と同時に通報者の位置が表示されることとなりました。

## 女性消防団員も採用

地域や住民を火災などの災害から守る消防団員が全国的に減少し、高齢化が心配される中、大野市消防団初となる女性消防団員に十四人が採用されました。



四月六日の結成式では、森廣廣治消防団長が一人一人に辞令を手渡し、初代部長を務める上村則子さんは「女性ならではの感性を生かし、日夜努力、研さんすることを誓います。」と決意表明。市民に対する防火広報、各種消防訓練への参加、大規模災害時の後方支援などに取り組んでいきます。

消防署 ☎66・0119

## 読書のススメ



『12か月のふろしき歳時記』  
ふろしき&エコバッグ研究会 編  
ナツメ社

今月は、四季を通して楽しめるふろしきを12か月の歳時記風に紹介している本を紹介します。ふろしきは、1枚あればエコバックにラッピングに生活のさまざまなシーンで役立つ和の小物です。本書では色柄、包み方、結び方など、ふろしきの利便性とデザインの美しさに注目し、季節や年中行事のシーンに合わせた活用の方法を紹介しています。毎日の生活の中で、ふろしきを使うことが楽しくなる1冊です。



## 新着図書

### 〔一般図書〕

流星の絆 (東野圭吾) 乳と卵 (川上未映子) 狐火の家 (貴志祐介) シンメトリー (菅田哲也) 裁判員法廷 (芦辺拓)

### 〔ノンフィクション〕

親の品格 (坂東眞理子) すべでは音楽から生まれる (茂木健一郎) 絶望男 (白井勝美) 母に歌う子守唄 その後 (落合恵子) 猿さんのぼちぶくる (夢枕獯) 限界集落 (梶井照

### 〔児童図書〕

戦争をくぐりぬけたおさるのジョージ (ルイーズ・ボーデ) ものいうなべ (メリー・C・ハッチ) 世界のむかしばなし (瀬田貞二訳)

### 〔絵本〕

ちょうちょうひらひら (まどみちお) 葉っぱのあかちゃん (平野隆久) これがほんとの大きさ! (ステイブ・ジェンキンス) くまとりすのおやつ (きしだえりこ)